



スマイルスクール Smile School

ひこさとだより

彦郷小学校ホームページ：三郷市立彦郷小学校で検索

令和8年
3月号

No.11

学校教育目標
やさしい子
学ぶ子
健康な子

彦郷小学校3月学校だより

感謝の気持ちを

～「ありがとう」を伝えるには～

校長 武田 智子

日差しが柔らかくなり、そと芽吹き始めた草花を目にすると、暖かい春の足音が近づいてきているのを感じます。彦郷小学校の子供たちはインフルエンザ等の感染症の流行と戦いながら、何とか、この冬の寒さを乗り切ることができました。各ご家庭におかれましては、お子さんの体調管理にお気遣いをいただきありがとうございました。残り1ヵ月、元気に今年度の終わりが迎えられるよう、引き続きご家庭での体調管理をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、「一日に『平均8回』言う言葉」と聞いて、思い浮かべるのはどんな言葉でしょうか。最近TVで取り上げられていた情報によると、それは「ありがとう」という言葉なのだそうです。自分自身と比べてどうでしょうか。多いと思いますか、それとももっと言っていると思うでしょうか。この「ありがとう」という言葉と同時に、一日の中でよく使われる言葉に「ごめんなさい」「申し訳ありません」という謝罪の言葉もあるそうです。どちらも人との関わりの中でとても大切な言葉だと思います。私はこの話を耳にしたときに、どちらも大切だけれど、できれば「ありがとう」という言葉をたくさん使いたい、使える子供たちになって欲しいと思いました。

子供たちは成長する中でたくさん失敗したり間違ったりします。当然、自分の失敗や間違いを素直に認めて「ごめんなさい」と言えることは必要です。けれど、子供たちの失敗や間違いを次につなげるには、温かな支援が必要です。「いいよ」と許してくれたら、「一緒にやろう」と声をかけてくれたら、そんな温かさに「ありがとう」と言える子供たちを育てていきたいと思えます。私が耳にした話にはさらに続きがあって、「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に伝えられる人は、孤立しないのだそうです。全てを一人で背負うのではなく、相手とつながっているからこそ「ありがとう」という相手への敬意と感謝の言葉が出ます。これは大人の社会でも同じことが言えるのかもしれませんが、「申し訳ありません」という謝罪は、一見、自分の非を素直に認めて潔い言葉に感じますが、一人で完結してしまいます。例えば自分の失敗や間違いであったら「教えてくれて、ありがとうございます」という相手への敬意と感謝で伝えることができれば、次へのステップが一人ではなくなるのかもしれませんが。

3月24日(火)には、57名の6年生が、未来への夢と希望をもって彦郷小学校を巣立っていきます。6年生には、この3月を、自分を支えてくれた方への感謝の気持ちをもちながら、卒業までの日々を過ごしてほしいと願っています。3学期のまとめ、1年間のまとめのこの3月、温かい感謝の気持ちと心からの「ありがとう」の言葉であふれる、彦郷小学校にしていきたいと思えます。

令和7年度も子供たちを温かく見守っていただいた地域の皆様、そして、保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも保護者・地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

児童数 2月27日現在 291名					
1年	26名	2年	52名	3年	50名
4年	54名	5年	52名	6年	57名

第46回卒業証書授与式について

- 日時 令和8年3月24日(火)
受付 8:30～8:45 (体育館入口)
開式 9:00 (卒業生入場開始)
- 式場 彦郷小学校 体育館
- その他
 - ・1家庭2名までの参列となります。
 - ・開式10分前(8:50)までにご着席ください。
 - ・1～5年生の児童は、卒業式への参列はしません。臨時休業日となります。学校に遊びに来ることはできません。特に午前中は、家庭で学習等ができるとういことと思います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和8年度の時間割について

基本的には、令和7年度と同様の日課となります。

- 月曜日……特別日課5時間
 - 火曜日……通常日課(1～2年:5時間、3～6年:6時間)
 - 水曜日……通常日課(1年:4時間、2～6年:5時間)
※委員会やクラブ活動がある日があります。
 - 木曜日……通常日課(1～3年:5時間、4～6年:6時間)
 - 金曜日……通常日課(1～2年:4時間、3～6年:5時間)
- 学期始めや学期末は、特別日課で早帰りとなります。

【変更となる日課について】

- ★毎月第2金曜日…1～2年:5時間、3～6年:6時間
4月は第3金曜日対象となりますが、変則的です。
4/16(木)…1年:3時間、2～3年:5時間
4～6年:6時間
4/17(金)…1年:3時間、2,4,5,6年:5時間
3年:6時間
- ★5/27(水)、9/30(水)、10/21(水)、11/18(水)の4日間は、委員会やクラブ活動がない日ですが、授業時数確保のため、3～6年生は6時間授業となります。
※毎日の下校時刻の確認をよろしくお願いいたします。

住所変更・転学等の情報提供について

お子様の転出入や住所変更につきましては、来年度の学級編成等に大きく関わります。以下の点につきまして、情報がありましたら速やかに学校にご連絡ください。

- ①転出する予定がある。(転居の時期、転居先)
- ②転出はしないが、学区内で住所変更する予定がある。

年度末に限らず、上記のような予定が生じた場合は、電話や連絡帳などで早めにご連絡ください。よろしくお願いいたします。(連絡先:048-957-9911 担当:中野)

3月



3月1日	日	
3月2日	月	特日 卒業式練習開始
3月3日	火	通常日課 学級費・教材費集金日 6年生を送る会
3月4日	水	特日 委員会活動(最終)
3月5日	木	特日
3月6日	金	特日
3月7日	土	
3月8日	日	
3月9日	月	特日
3月10日	火	特日
3月11日	水	特日
3月12日	木	特日
3月13日	金	特日 中学校卒業式
3月14日	土	
3月15日	日	
3月16日	月	特日 卒業式予行(9時開始) 通学班会議・一斉下校(5校時) 11:50～下校
3月17日	火	特日5時間
3月18日	水	特日
3月19日	木	特日5時間 給食終了
3月20日	金	祝日 春分の日
3月21日	土	
3月22日	日	
3月23日	月	特日4時間
3月24日	火	第46回卒業証書授与式 1年～5年臨時休業日
3月25日	水	特日3時間
3月26日	木	特日3時間 修了式
3月27日	金	学年末休業日(～3/31) 春季休業日(4/1～4/7)

4月の予定は、裏面をご確認ください。

日頃の感謝の気持ちをこめて
 ありがとうございます

おはなしばたけさん・図書環境
 ボランティアさんの活躍

2年生 わくわくデリバリ教室
 算数の学習を楽しみました

4年生 外国語活動
 好きな教室まで道案内に挑戦

令和8年度4月 行事予定について

※新1年生の下校時刻は、下記と異なります。
 ※学期始めの特別日課は、8日(水)～20日(月)までです。

- 4月 8日(水) 特日3、始業式(11:15下校)
 入学式(13:00～受付)
- 9日(木) 特日4、通学班会議・一斉下校(11:55頃下校)
- 10日(金) 特日4(12:10下校)
- 13日(月) 特日5、給食開始(14:10下校)
- 14日(水) 特日、委員会活動
- 16日(木) 特日、授業参観・懇談会(1,2,3年生)
 (2,3年生…14:10下校、4,5,6年生…15:05下校)
- 17日(金) 特日、授業参観・懇談会(4,5,6年生、にじあお)
 (2,4,5,6年生…14:10下校、3年生…15:05下校)
- 22日(水) クラブ活動
- 23日(木) 6年全国学力・学習状況調査(国語・算数)
- 24日(金) 1年生を迎える会
- 27日(月) 特日、6年生全国学力・学習状況調査(質問調査)
- 28日(火) 給食費集金日
- 30日(木) 全校朝会

※現時点での予定です。行事予定は変更になる場合があります。懇談会でお渡しした年間行事予定表もあわせてご確認ください。

タブレットケースをご用意ください

三郷市から貸与されているタブレットが新しい物に変わり、機種やサイズも変わりました。一人一人が大切に扱うことができるように、タブレットケースの用意をお願いします。(現1年～5年生は、卒業記念品として贈られますので、準備の必要はありません。) 現1年～5年生は、新年度初めに6年生と同様のケースの申込袋を配付しますので、そちらで申し込んでいただくか、下記サイズを確認の上、ご家庭で準備していただくのどちらかになります。(学校で申し込む場合のケース代金は、800円程度です。) ご協力のほどよろしくお願いいたします。

メーカー名: ASUS 型番: BR1104FTA-NS0097XA 重さ: 1.46kg
 サイズ: 幅 296.9mm × 奥行き 213.0mm × 高さ 21.1～21.2mm 画面サイズ: 11.6型

◇令和7年度の学校評価の結果は、以下の通りです。
 今年度も本校の教育活動にご協力をいただきありがとうございました。

令和7年度 三郷市学校評価システム 本評価: 学校関係者評価シート						
評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.53	4.00	職員に対して年度当初に校長より学校経営方針が示され職員各自、それに資する目標設定をした。また保護者、地域に対しては学校だよりやホームページを通じて具体的な取り組みや教育活動を繰り返し発信した。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.53		各教科主任を中心に行事等の計画、運営を行った。行事後の反省を全教職員で共通理解し、次年度につなげていけるようにした。教科・領域によって主任の負担に差があり、組織で計画、運営を行うことが課題である。
		3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.32		学力向上(算数)の研修、読書活動、運動会や陸上記録会、体育の実技研修などは、教員がお互いに学び合い、切磋琢磨をしながら良いものを目指し特に努力した。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.16	3.78	校長の示す経営方針を皆で共有しながら、教員それぞれが経営方針に沿った目標を立て、それぞれが主体的に教育活動を進めた。
		5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.74		打ち合わせや、職員会議において、校長、教頭から繰り返し指導があった。不祥事防止に向けて職員全員が当事者意識をもって研修に取り組めた。また、教員同士の意見交換では風通しの良い職場について活発な意見交換ができた。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.63		計画的、継続的に課題研修に取り組み、授業力の向上につなげた。指導案検討や模擬授業など教員が主体的に取り組めた。今後はより重点化して取り組む視点も必要である。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.37		様々な授業で活発な話し合い活動が各クラスで行われた。タブレットを活用した授業を毎日実施することができ、個別最適な学びにつながった。しかし、ICTの活用が学力向上につながっていない現状があり、より効果的な活用を図る必要がある。
		8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.21		三つの授業チェック10をもとに日々の授業について振り返りをこない。今後は特に学力を向上させた教員から学ぶ取り組みを充実させ、良い指導を共有したい。学級閉鎖の際はタブレットを使ったオンライン授業も実施し、学力の保障を図った。
		9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.63		全クラスが教室に掲示し、意識しながら日々授業に取り組んでいる。教師と児童の評価の基準について、今後よく確認し、目指す姿を共有する必要がある。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.11	3.89	概ね落ち着いた、学習に取り組むことができているが、学年間で差がある。今後は全職員がより連携・協力して課題の解決に取り組む。
		11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.47	3.89	図書館司書、図書環境ボランティア、読み聞かせボランティアと連携し、読書活動を推進している。各クラスで行っていた読書活動が児童の読書活動に良い影響を与えてきている。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.47	3.89	児童は本が好きであるが、読書量増加につながっていない。教員が積極的に声をかけて行う活動で読書量が増加したクラスもあるが、今後も様々な教科・領域の調べ学習で図書館を活用させるなど、児童の主体性を活かした活動を発展させ、読書量の増加を目指している。
指導・管理の状況	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.16		全学年で栄養教諭による食に関する授業を実施し、食育に力を注いだ。保健指導でも「早寝早起き朝ごはん」を継続的に指導してきたが、朝食を食べない児童があり、今後も家庭と連携した取り組みが必要である。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.37	3.67	運動好きな児童が多く、休み時間には走運動や、縄とびに自主的に取り組んで体力を高めている。新体力テストではほとんどの児童の体力の伸びが素晴らしい結果であった。運動会や陸上記録会では、全力で取り組む児童の姿が見られた。
		15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道德教育の改善に取り組むとともに道德教育を積極的に推進している。	3.21		課題研修ではなくなくなったもの、各クラスにおいて道德の授業を大切に行ってきた。年度当初には道德主任がオリエンテーションの授業を公開して、産磨型の道德授業を継承している。「道德ノート」を作成し、授業のたびに児童が自分の考えを書く活動を継続している。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うとともに、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.16		道德の心構えを養い、人権意識を高めるために「こころタイム」では、教員の説話を聞く機会を設けている。各教室に道德コーナーを設置し、授業の振り返りや日常での意識化を図っている。「こころの木」により児童の道德性の高揚を図っている。
		17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.42		教員は児童の手本となる言葉遣いを心がけている。教師は児童の最大の環境であるということを含意に努力している。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。★	3.16	3.22	教員が児童の手本となるよう、さわやかな挨拶を心がけているが、進んで自分から挨拶のできる児童が少ない。今後も学校全体であいさつ運動に取り組むため、年間の生活目標にあいさつを位置づけるなど、きちんと挨拶ができる児童の育成を目指す。
指導・管理の状況	生徒指導	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるように指導している。	2.95		粗暴な言葉遣いの児童がいる。時々感情が激しく争うこともある。そのような際は教員が単独で対応するのではなく複数の教員で冷静に対応している。授業の心得を活用し正しい言葉遣いを根強く指導してきた。
		20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.63		管理職、スクールカウンセラー、生徒指導主任等、多くのスタッフが関わり、組織的に対応している。毎月の生徒指導・教育相談部会の会議で、課題を共有し、一貫した対応ができるようになっている。
		21	学校は、保護者に必要に応じて関係機関と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.63		一つの問題に対しても、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー、生徒指導主任等、多くのスタッフが関わり、組織的に、適切に対応している。保護者との面談も活発に行っている。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.68	3.78	毎月の生活アンケートや相談しやすい環境づくりで小さないじめも見落とさず初期対応を心がけている。毎月の生徒指導教育相談委員会でも職員で共有して組織的に対応し、いじめを見逃さないよう、担任だけでなく、生徒指導主任を中心に一つ一つの事案に対して丁寧に対応している。
		23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.58		定期的に避難訓練に真剣に取り組んでいる。児童には繰り返しのショート訓練で自分で身を守る行動が身につけている。これからは改善を繰り返しながら、継続的に取り組むことが大切である。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.63	3.89	安全教育主任を中心に、全教職員がそれぞれの分担を定期的、継続的に点検している。また危険な箇所はすぐに補修している。特に校舎の老朽化によるトラブルに対応した。
教育環境	安全・安全	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.32	3.67	黙って清掃する「もくもく清掃」の取組が良い。今後は意義を子供たちにより伝えることで、主体的な態度を育成したい。教室掲示など担任の工夫が見られるが、各階の学年掲示版の活用が課題である。
		26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.47		休暇の取得しやすい職場環境である。心身を休め、職務に集中して取り組むことができる。ふれあいデーや定時退勤ワークの取組を契機に時間外勤務80時間超の職員がいなくなり、通勤時刻や時間外勤務時間に対する意識が高まり、個々の働き方改革につながった。
東郷地域との連携	東郷地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.47	4.00	ホームページの更新がほぼ毎日おこなわれている。複数体制で更新業務にあたることで、確実に更新ができた。保護者・地域の閲覧率も確実に上がっている。今後は学校だよりの完全電子化など検討事項である。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.37	3.56	親の学習は就学時健康診断で来年度入学予定児童の保護者に向けて実施した。また、毎日の登校の見守り活動、環境整備活動、図書の見聞かせ活動等行っていただいている。団地教会による1年生の音遊みも実施でき、地域の方々とつながり、児童の豊かな心身の育成、安心安全の確保がなされた。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.26	3.67	PTA活動に関しては会長を中心にしっかりと取り組むことができた。今年度も厚労フェスが開催され、多くの児童が参加した。運動会や学校公開の際には本部役員の方々と中心に協力して行事運営ができた。働き方改革で教職員の休日行事への参加が制限されたが、できる限りの協力は図られた。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。